

公共施設・庁舎跡利用についての地区意見交換会

【石川地区】

| | |
|-----|-------------------------------|
| 日時 | 平成25年6月22日（土） 午後2時00分～午後5時00分 |
| 場所 | 石川保健相談センター 2階 |
| 参加者 | 計 19名 |

会議の様子：



【第1部】 公共施設等のあり方について

意見概要

〈図書館について〉

- 図書館は、地域に最低限必要な施設である。
- 図書館などの既存施設を交流の場として活用することが考えられる。

〈社会福祉施設について〉

- 高齢者が元気に活動していけるための公共施設のあり方や子どもたちが郷土愛を育むことができるように学校外で利用できる学習施設等のあり方なども検討の視点として考えられる。

〈再編の考え方について〉

- 重複する機能や施設については、地域特性を活かしながら保全又は再編することが考えられる。
- 利用状況が悪いということや管理運営経費が高いということから単純に統廃合をするのではなく、高齢化の進行や子どもたちの将来を見据えながら検討することが考えられる。
- 再編を検討する際には、公平な判断のもとで検討されたことをしっかりと示すことが重要であり、検討にあたっては可能な限り市民の意見を伺うことが望ましい。
- ソフト面（導入される機能）を考慮しながらハード面の整備を考えるべきである。
- 石川地区には、体育館や運動場、野球場、保健相談センター、教育施設などがまとまって配置されていることから、施設単体としてではなく全体として捉える必要がある。

〈施設の維持管理について〉

- 指定管理者は、公募により選定することが望ましい。

【第2部】 庁舎跡利用について

意見概要

《跡利用の考え方》

- 庁舎の建替えには費用を要することから、耐用年限までの利用が望ましい。
- 維持管理面についても考える必要がある。

《石川庁舎の跡利用》

- インターチェンジに近いという交通の利便性を活かし、市外から人を呼べるような施設が考えられる。
- 検討にあたっては防災面を第一に考えたい。
- 様々な人が集まれる施設と駐車場としての利用が考えられる。
- 子どもと高齢者が交流できる施設が考えられる。
- プロ野球のキャンプ誘致の推進にあわせ、選手や関係者のための施設が考えられる。
- 現在庁舎が創出している雇用や経済効果を維持、あるいはそれ以上の効果が期待できる機能の導入が望ましい。
- 周辺にある体育施設、文化施設を活かした機能が考えられる。
- 地域の方が集まり活動できる場としての機能も考えられる。
- 交通利便性やロケーションの良さを活かし、ヤンバルと中南部の結節点となる施設が考えられ、ヤンバルで採れた農作物の販売や海洋スポーツができるレクリエーション機能など、親子が遊びに来られる場が考えられる。
また、周辺にある体育施設を活かし、スポーツ合宿等が可能な宿泊機能も有するなど、複合的な活用も考えられる。
- メタボ予防や足腰の弱い高齢者の介護予防などの対策として、プール運動が効果的であることから、プールなどの施設が集約している利点も活用していくことが考えられる。
- 現在の行政サービス機能は残しながら、周辺施設の活用により地域活性化を考えたい。
- 宮森小学校の米軍機墜落事故の展示を活用し、子どもの学習に役立つだけでなく、来訪者が戦中戦後を知ることのできる石川地区の資料館としての活用が考えられる。2階は、修学旅行生や観光客など、100人以上が食事できる場所としての活用が考えられる。
- 周辺の商店街の利用客は無料で駐車できるなど、夜間も利用できる駐車場としての活用が考えられる。

《勝連庁舎、与那城庁舎の跡利用》

- 勝連庁舎は築後年数が経っていることや利用状況をみると処分することも考えられ、比較的新しい与那城庁舎を与勝地区の施設として活用することも考えられる。